

都が整備する競技会場等の暑さ対策

アスリートや観客が快適に過ごせるよう、大会後の利用の姿も踏まえ、組織委員会と連携しながら、引き続き暑さ対策のための検討を実施。

(競技会場等における主な取組)

- 基本設計及び実施設計の中で、
 - ・ 建築物の熱負荷の低減(外壁等の断熱等)
 - ・ 効果的な空調方式
 - ・ 建物の屋上緑化
 - ・ 観客利用エリアでの遮熱性舗装の導入
 - ・ 会場周辺の既存樹木を極力保存し緑陰を確保 等の暑さ対策を設計に反映
- 今年度より施工が開始される競技会場
 - ⇒ 設計の意図を現場にて確実に反映
- 今年度から来年度にかけ、引き続き実施設計中の競技会場
 - ⇒ 観客席への屋根の設置等について検討

(参考スケジュール) 別紙のとおり

都が整備する競技会場等の整備状況

区分	対象施設	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)	
新設	オリンピックアクアティクスセンター	実施設計・工事					テストイベント オリンピック・パラリンピック競技大会
新設	海の森水上競技場	実施設計・工事					
新設	有明アリーナ	実施設計・工事					
新設	カヌー・スラローム会場	基本設計	実施設計	工事			
新設	大井ホッケー競技場	基本設計	実施設計	工事			
新設	アーチェリー会場(夢の島公園)	盛土設計	盛土工事	施設設計 施設工事			
既存 (改修)	有明テニスの森	基本設計	実施設計	工事			
新設	武蔵野の森総合スポーツ施設	工事					
選手村	恒設施設部分(建築物)特定建築者	工事					

※平成28年10月時点